

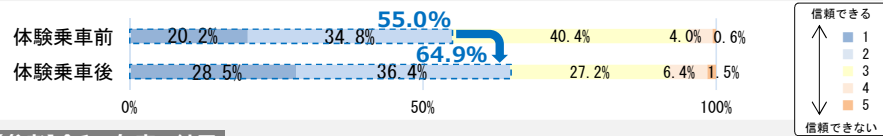
■ アンケート調査概要

調査対象	実施期間	調査方法	回答数
体験乗車 (関係者含む)	令和3年10月23日(土) ～31日(日)	自動運転バス乗車前後に 記入式アンケートを依頼	327名
来場者	令和3年10月23日(土) ～24日(日)	自動運転実証実験会場 で聞き取り	108名
地域住民	令和3年10月30日(土) ～31日(日)	走行ルート沿道の方に 聞き取り	50名
道路利用者	実験期間後	運輸事業者(バス、タクシー、トラック) に記入式アンケートを依頼	89名
合計			574名

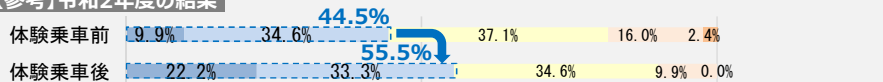


① 自動運転技術の信頼性

・ハンドルやアクセル、ブレーキペダルを備えた運転席がない車両での走行や、
信号協調や横断者検知など**高度な技術の活用**により、昨年度より**信頼性が向上**

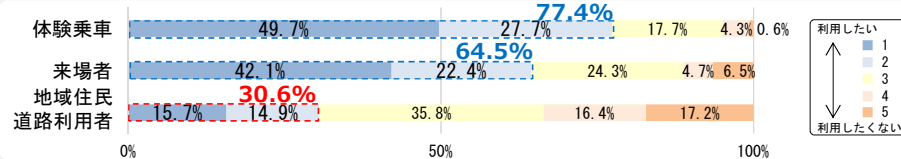


【参考】令和2年度の結果



② 自動運転技術を用いた公共交通の利用

・**体験乗車した方**や展示車両に触れることができた**来場者**は、
自動運転技術を用いた公共交通を利用したいという意向が昨年と同様に**高い**

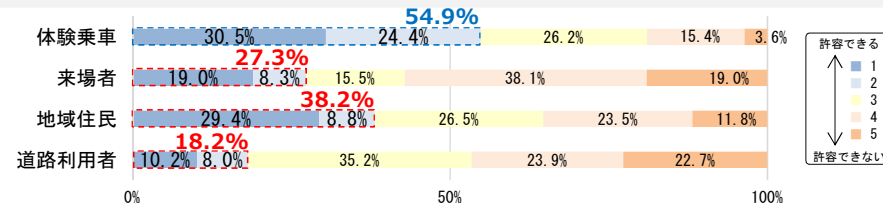


【参考】令和2年度の結果



③ 低速走行の許容

・自動運転車両の低速走行に対する許容は、体験乗車した方は**約5割**、道路利用者では**約2割**

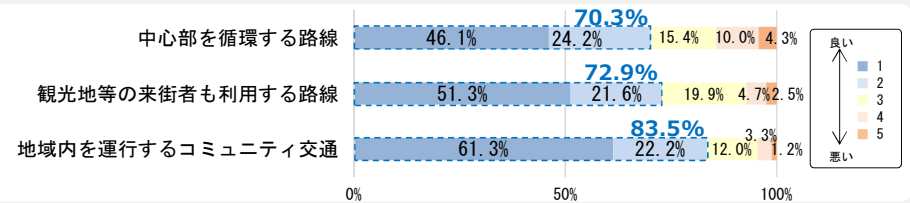


対応方針：社会受容性の向上

・低速走行など車両の特性が理解され、社会に受け入れられるために**継続した取り組み**が必要

④ 自動運転バスの導入を期待する路線

・各路線とも自動運転バス導入への**期待が高い**

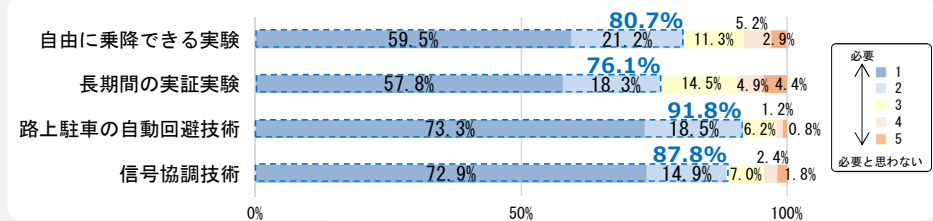


対応方針：社会受容性の向上

・より多くの利用者から自動運転技術への理解、賛同を得るため、これまで進めてきた
中心部の路線に加え、観光地等の**来街者も利用する路線への拡大**など、**段階的に**取り組む

⑤ 自動運転の導入に必要なこと

・市民や利用者を知っていただくための実証実験の必要性を**多くの方が感じている**
・路上駐車自動回避や信号協調等、自動運転技術の向上を**大半の方から望まれている**

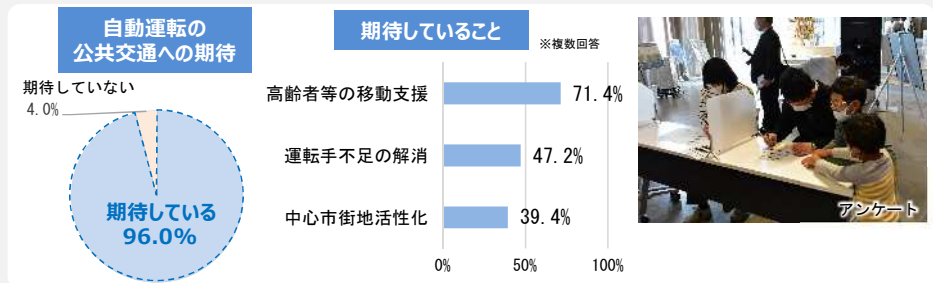


対応方針：社会受容性の向上

・公共交通への自動運転技術導入に向けて引き続き実験を重ね、
技術の向上と共に、多くの方が自動運転に触れる**機会の増加**が必要

⑥ 自動運転の公共交通への期待

・公共交通への自動運転導入に対し、**様々な面から今後への期待**を込めた**多くの意見**があった



その他の自由意見

- ・思ったより**スムーズで快適**
- ・公共交通で走っていたら**毎日でも乗りたい**
- ・**一日も早く実現**してほしい
- ・岐阜市が自動運転の**リーディングシティ**になってほしい